

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営戦略

ストックビジネスの推進と顧客課題解決を通じ、グループ全体の事業柔軟性・対応力を強化する。

時価総額
100億円以上

② 中長期の経営戦略

1. ストックビジネス推進

MVNOサービス等の安定収益モデル拡大。市場上位レイヤーの顧客基盤と開発力を活かしたサービス向上・拡充を実施。

2. システム開発事業強化

30年以上の組込み開発力と通信技術を組み合わせ、組込み&エッジからクラウドまでのワンストップ開発で顧客ニーズに対応。

3. グローバルキャストM&A推進

2026年4月1日に株式交換予定。製品開発力と販売基盤を一体化し、シナジーで企業価値向上を実現。

4. 光通信との提携強化

リテールメディア「BRIDGE AD」の協業とM&A支援サービス活用で、企業買収推進の体制構築。

③ 対処すべき課題

① 時価総額低迷の解消

- ・長年の業績不振による時価総額低迷を継続状態。2022年度は上場維持基準不適合。
- ・グローバルキャストM&Aと光通信提携で企業価値向上を図り、2030年の基準100億円以上達成が必須。

② 成長ステージごとの経営資源確保

- ・スケールアップに向けてヒト・モノ・カネの経営資源確保が重要課題。
- ・M&A・アライアンスによる外部リソース取り込みが急務である。

③ ストック売上基盤の構築

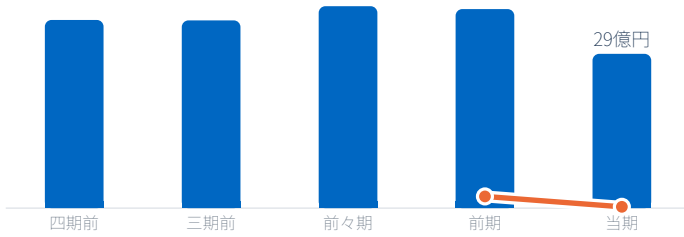
- ・継続課金モデルの製品・サービス拡大でストック売上の安定化を推進。
- ・システム開発の粗利益増加とストック事業の収益基盤安定化を同時達成。

面接で使えるポイント

- ・アプリックスは30年以上の組込み開発力を強みに、2026年4月グローバルキャストと株式交換で一体経営へ移行予定。
- ・光通信との資本業務提携でM&A推進体制を構築し、2030年時価総額100億円以上達成を目指す戦略展開中。
- ・MVNOサービス等のストックビジネス拡大と粗利益向上で、長年の業績不振解消と企業価値向上に取り組む方針。

証券コード 3727

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
29億円営業利益率
▲2.3%財務健康度
34点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 38.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
573万円

情報・通信業内 452位/592社

平均年齢
47.21歳

情報・通信業内 32位/593社

平均勤続
12.06年

情報・通信業内 81位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【横須賀市】「株式会社アプリックス」が横須賀市の教育改革推進

